

# 安全なインターネット利用のためのルール見直しに向けて【学校版】

児童生徒がインターネット利用する際のルール見直しのための資料です。

ルール策定の際は、昨年度配布の資料を参考にしてください。

札幌市から配布されている「1人1台端末利用のルール」を前提として、学校内でのルールの見直しの際にご参考にしてください。

## 1. ルール見直しの流れ(例)

アンケート等を使って現状を把握する

まずは、現状を把握し児童生徒に自分の使い方を見直す機会を作ります。

- ・ルールを守ることができているか
- ・SNSの利用の実態
- ・ネット上でのトラブルの実態 等

動画教材等を活用し、デジタルシティズンシップを学んでクラスでルールを話し合う

動画教材を使うことで、情報モラルの知識を身につけます。（別紙「参考資料」参照）

児童会、生徒会で話し合い、ルールの見直し・重点目標を設定する

クラスでの話し合いを集約し、児童会・生徒会で話し合います。全てのルールを見直すのではなく、重点的に守るべきルールを決めて取り組みましょう。

学校ルールを発表

ルールを守ることを周知する活動（ポスター作成や標語の作成等）を行うことでより考える機会を作ることができます。

## 2. ルール見直しのポイント

### 自分達で考え、自律的に思考できるように促しましょう

ルールを守らせる指導だけでは情報モラルを身につけていくことは難しくなります。発達段階に応じてルールをやモラルを考え、自ら判断し、行動できる力を身につけられるよう指導しましょう。

### ルールは具体的に作りましょう

「人の嫌がることを書きこまない」といったルールでは、人によって解釈が異なることがあります。実行しやすく、ルールを守ることができたか検証しやすいルールを作成できるよう、次ページの具体例を参考に考えましょう。

### 3. ルールの具体例

#### インターネット（端末）の利用する時のルール

- ① 端末やインターネットは学習以外で利用しない。
- ② 授業中は、先生の説明や指示にあわせて利用する。
- ③ 休み時間など授業以外の時間で利用する時は、先生に確認する。
- ④ 公共施設やお店のWi-Fiに接続する時は、先生や大人の人に確認する。
- ⑤ 家庭や個人で利用してるSNSやサイト、アプリを学校の端末で利用しない。

#### ログインID・パスワードの扱い方

- ① ログインIDやパスワードを他の人（親戚や友達）に教えない。
- ② ログインIDやパスワードが書かれたメモやカードは大切に保管し、放置しない。
- ③ もし、ログインIDやパスワードが書かれたメモを失くしてしまった場合は、先生に相談する。

#### 個人情報の扱い方

- ① 名前や年齢、住所、通っている学校などの情報をインターネットに書き込まない。
- ② 友達や家族の個人情報をインターネットに書き込まない。
- ③ インターネットを利用しているとき、個人情報を求められたら先生に相談する。

#### 写真や動画の扱い方

- ① 写真や動画に人が映るときは、許可を取る。
- ② 先生が許可していないSNSやサイト、アプリなどに写真や動画をアップロードしない。
- ② インターネットにアップロードする場合、写真や動画に映っている物の持ち主や人に許可を取る。

#### 情報を発表（発信）する時のルール

- ① どのサイトから入手した情報か、引用先を資料に掲載する。
- ② 情報が最新のものか、正しいか確認をする。
- ③ 人やお店などを傷つけるような情報発信はしない。
- ④ 発表（発信）された情報で傷ついたり困ったことがあったら、先生に相談する。

#### 健康に配慮した活用ルール

- ① 姿勢正しく目と端末との距離を30cm以上離す。
- ② 30分に1回は端末から目を離し、遠くを見て目を休める。
- ③ 1日2時間以上の屋外活動をする。

#### 困ったことがあったら・・・

- ① 不安になったり、困ったことがあったら先生に相談する。
- ② 先生に言いにくいことは、家庭やカウンセラーなど他の大人に相談する。

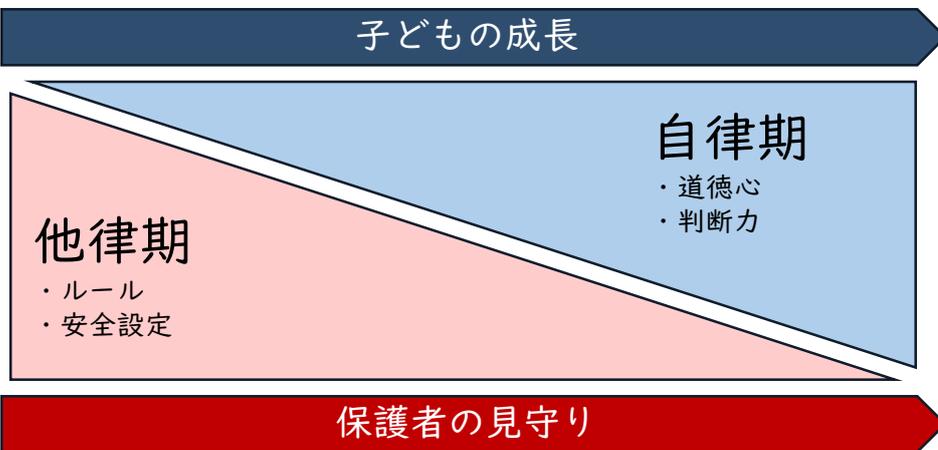
# 安全なインターネット利用のためのルール見直しに向けて【家庭版】

家庭でのインターネット利用ルールの見直しのための資料です。

札幌市から配布されている「1人1台端末利用のルール」を前提として、家庭でのルール見直しの際の参考にしてください。

## 1. 家庭でのルール見直しの必要性

インターネットを使用していると様々なトラブルに遭遇することがあります。子どもたちを危険から守るためにも、家庭でルールを作成し見守ることが大切です。しかし、成長に合わせてルールを変えて行かなければ、子どもたちは自分で判断し、行動することができなくなってしまいます。



上の図のように、自律的に行動できる部分を育てていく必要があります。そのためにも子どもの成長に伴って、ルールを見直していきましょう。

## 2. ルール見直しのポイント

### 子どもとしっかり話し合いましょう

目的のわからないルールを守ることは難しいことです。何のために必要なルールなのかをしっかりと話し合しましょう。特に、成長してきている子どもの場合は、子どもの意見も聞きながら押しつけだけのルールにならないように注意しましょう。

### ルールが守られているか見直しましょう

守られていないルールは、守れなかった理由を考えましょう。無理のあるルールになっていないか、ルールを無視するような行動になっていないか振り返ることが大切です。また、成長に合わせてルールの幅を変えていきましょう。

### ペアレンタルコントロールを活用しましょう

ペアレンタルコントロールでは保護者が使用時間制限や課金の制限、フィルタリング等を設定することができます。保護者も見守りやすくなります。

### 3. インターネットのトラブルとルール の例

#### ネット・ゲーム依存

夜遅くまで動画サイトを見ていたり、ゲームを長時間することで、朝起きることが難しくなったり、寝不足でイライラしたりといった症状が出てきます。

##### ルール

- 使用する時間を決める  
(インターネットを使う時間は2時間まで、ゲームは2時間まで等)
- 使用する時間帯を決める  
(21時までには使用をやめる等)
- 使用する場所を決める  
(ゲームはリビング等大人がいる時に使う等)

#### SNS依存・トラブル

友だちとのつながりを気にして、四六時中スマートフォンを見てしまうことがあります。また、友だち同士での会話からトラブルに発展してしまうこともあります。他にも、見知らぬ人とのやり取りから事件に巻き込まれることもあります。

##### ルール

- 使用する時間帯を決める  
(21時までには使用をやめる、食事中は使用しない等)
- 投稿の内容を考える  
(傷つけるような内容は発信しない、他者の画像や動画は許可を得てから撮影する、1対多数の状況にならないようにする等)
- やり取りする相手を決める  
(家族のみ、知らない人とは話をしない、知らない人には会わない等)

#### SNSへの投稿

不適切な画像をアップロードして炎上することや、個人情報載せてしまい悪用されるということがあります。一度インターネット上にアップロードされた画像や投稿は消すことができなくなることがあります。投稿してもいいものか立ち止まって考えるようにしましょう。

##### ルール

- 投稿の内容を考える  
(個人情報は投稿しない、冗談のつもりでも他者に迷惑かけない等)

#### 課金トラブル

保護者の気づかないうちに高額な課金をしてしまうことがあります。ペアレンタルコントロールも活用しながら、お金の使い方を考えましょう。

##### ルール

- 課金の制限  
(課金はしない、お小遣いの範囲内で使う、保護者に確認を取る等)